



平成 26 年 5 月 13 日

各 位

上場会社名 川辺株式会社  
 代表者 代表取締役社長 吉田 久和  
 (コード番号 8 1 2 3)  
 問合せ先 執行役員経営管理統括本部管理本部長  
 兼経理部長 五十川 幹雄  
 電話 03-3352-7110

平成26年3月期 個別経営成績の前事業年度実績値との差異に関するお知らせ

平成26年3月期決算における個別経営成績の前事業年度実績値との差異に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成 26 年 3 月期 個別経営成績の前事業年度実績値との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)  
 (単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
平成 25 年 3 月期(A)	15,827	641	716	△237
平成 26 年 3 月期(B)	16,130	337	430	132
増減額 (B-A)	302	△304	△286	369
増 減 率	1.9%	△47.4%	△40.0%	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、ハンカチーフは、第2四半期より新規投入したブランドのジル・スチュアートの販売が好調に推移しました。フレグランスは、2013年度年初よりプーチ社（プラダ、ニナリッチ、ヴァレンティノ等）との契約が始まり、年末にはFENDI社の正規代理店契約が締結できたことが起因し、百貨店、ホールセールの販売が伸長しました。

この結果、売上高は3億2百万円増加いたしました。

一方、利益面につきましては、身の回り品事業において、商品原材料の高騰とハンカチーフのクリアランスセールの構成比が前年より高くなった事により、売上総利益が減少いたしました。

フレグランス事業におきましては、急激な円安が輸入コスト増に繋がり、売上総利益が減少した事と新ブランドの経費増もあり、前年より減益となりました。

以上の理由により、前期と比べ営業利益・経常利益は減益となり、当期純利益につきましては、前期に厚生年金基金脱退損失（特別損失10億40百万円）を計上いたしましたので、当事業年度は増益となりました。

以 上